

HOW DO MAINSTREAM STUDENTS

Change

Their Image of People with Disabilities
through Exchange Learning?

E0216013 Yui Saito

Introduction

交流及び共同学習について

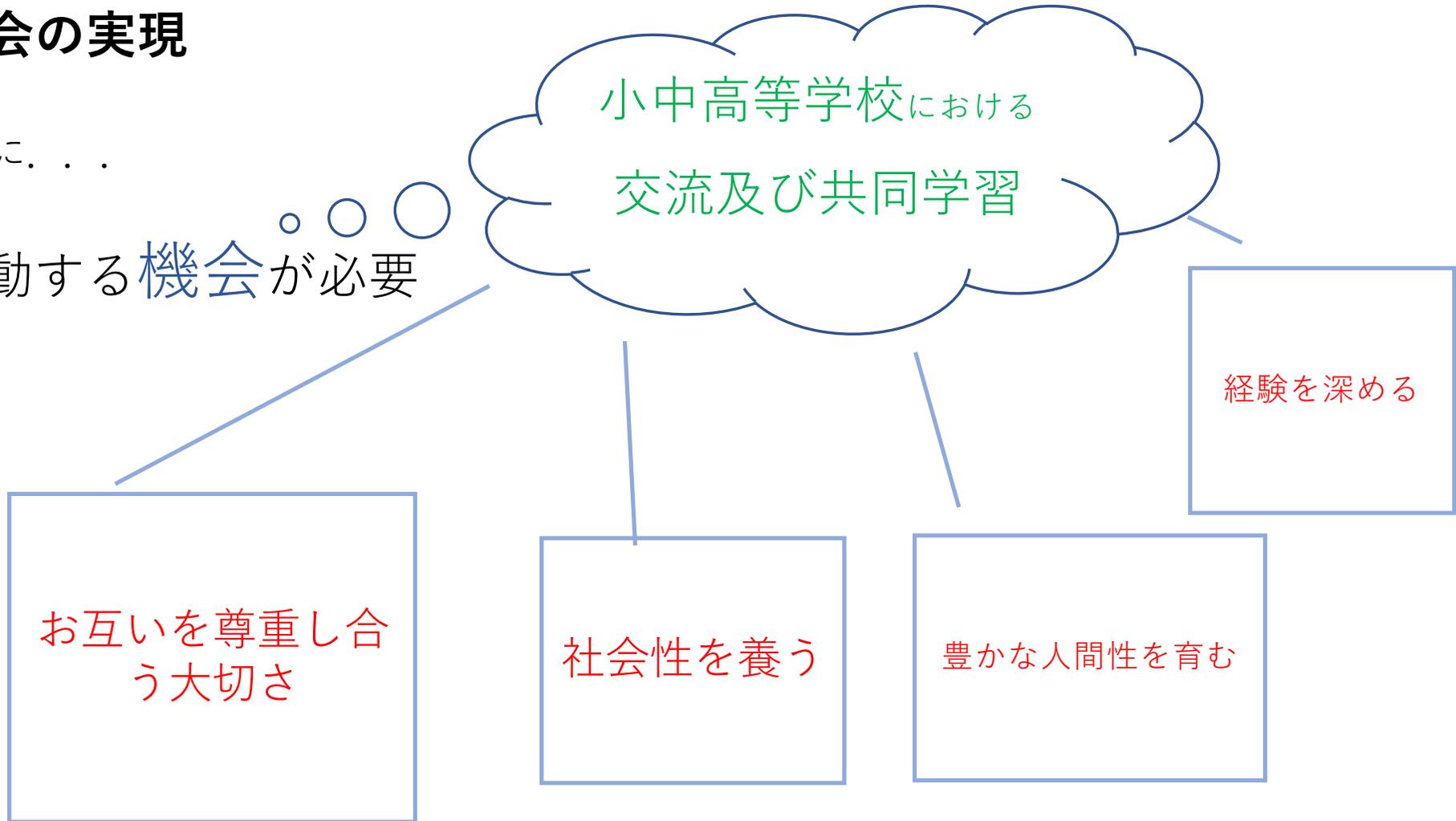
小学校児童（4年生、35人）が
障害のある児童（小学部1～6年、18人）への
好意的イメージをどう変えていくか

Introduction

共生社会の実現

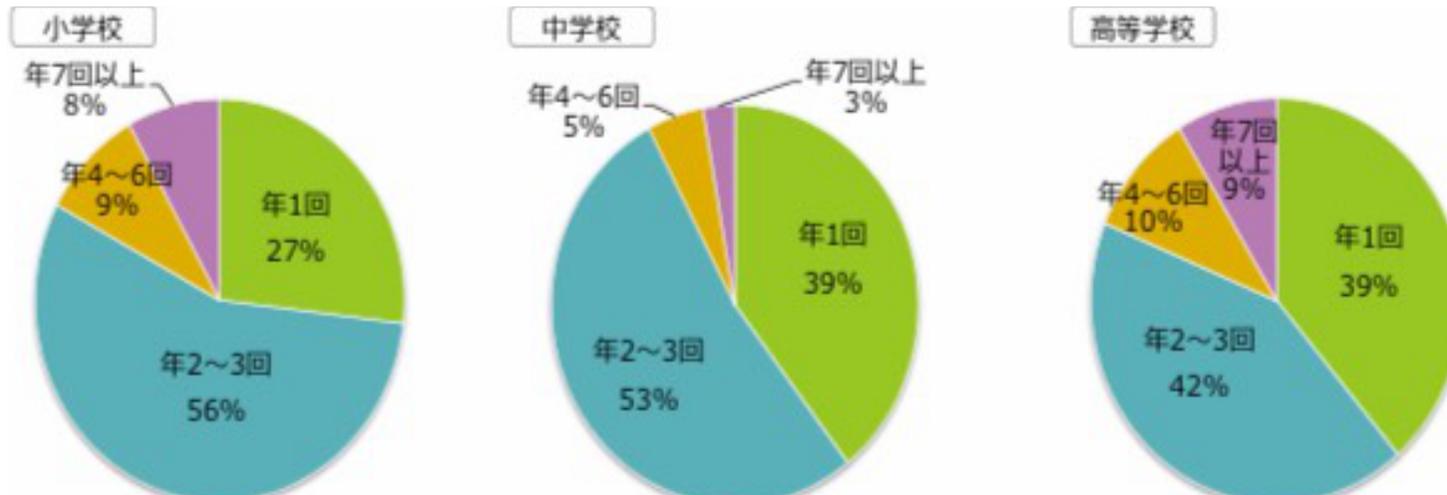
↓ のために...

共に活動する機会が必要



Literature review

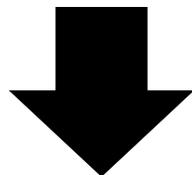
	小学校	中学校	高等学校
実施した	16%	18%	26%
うち、毎年度継続的に実施	15%	17%	25%
数年に一度実施	1%	1%	1%
実施していない	84%	82%	74%



文部科学省初等中等教育局特別支援教育課(2017) 障害のある児童生徒との交流及び共同学習等実施状況調査結果

Literature review

小6年35人と養護学校の男児との交流
「児童の障害児(者)に対する理解の程度が浅く、T児と適切なかかわりができなかったためではないかと推察する。」



Research questions

How will mainstream students change their favorable image of children with disabilities through exchange learning if they have their own partner during the learning?

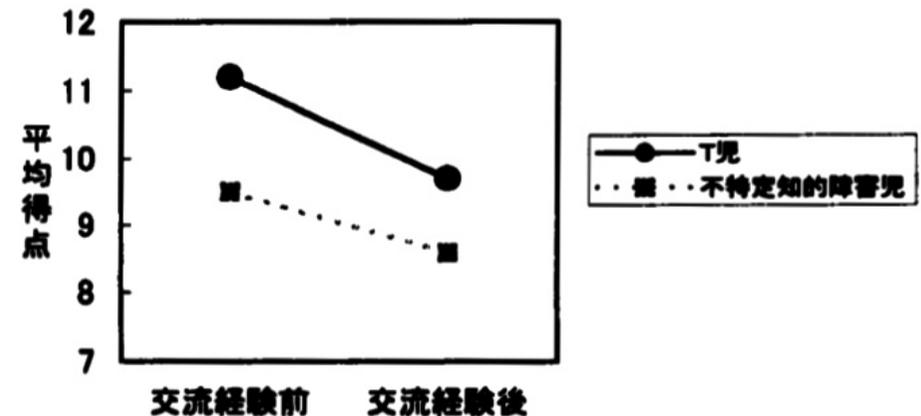


Fig. 3 交流経験前後の好意的イメージの平均得点

大谷博俊(2001)

交流教育における知的障害児に対する健常児の態度形成
—態度と事前指導における情報提供、交流経験、評価
対象となる知的障害児の特定との関連性の検討—

Methodology

Participants: 32 fourth graders in an elementary school.

I gave them questionnaires three times.

① before the learning starts

② after the second time of the learning (before the third time)

③ after the all the learning

Methodology

2. 次の交流会で附属特別支援学校の友だち（ペアの友だち・それ以外の友だち）に自分から話しかけることができると思いますか？当てはまるものに○をしてください。

（ペアの友だち）	できると思う	分からない	できないと思う
（それ以外の友だち）	できると思う	分からない	できないと思う

どうしてそう思いますか？

3. 次の交流会で附属特別支援学校の友だち（ペアの友だち・それ以外の友だち）と話すとき、どんな話をしたらいいと思いますか？当てはまるものに○をしてください。

（ペアの友だち）	こんな話！	分からない
（それ以外の友だち）	こんな話！	分からない

話したいことを教えてください。 分からない人はどうしてそう思うかを教えてください。

- **ペアの友だち**（特定児）と**それ以外の友だち**（不特定児（Unspecified students））の**好意的イメージ**（Favorable image）の変化をはかる。
- 「**点数が下がっているから交流会がマイナスなもの**」ということではないと考え、**選択肢**だけでなく、**自由記述**も入れ、記述から児童の変化を読みとる。

Findings & Discussion ①

Favorable image of unspecified students



ex 児童の記述から抜粋

●話しかけても返事をしてくれない

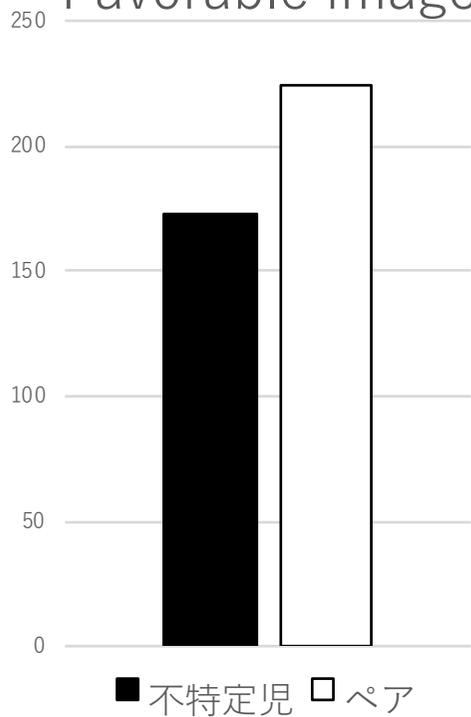
●手をつなげなかった

○(相手が)言葉が話せなくてもジェスチャーで伝えられるから

○少しずつなら私たちと一緒に遊んでくれるから

Findings & Discussion ②

Favorable image



ex

児童の記述から抜粋

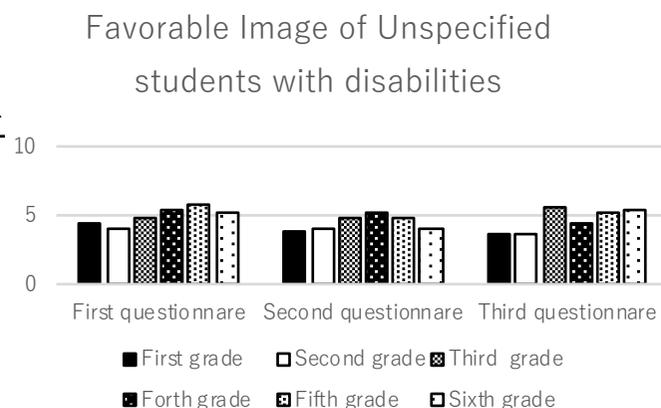
- (ペア)もう仲良くなっているから性格も知っている
- (それ以外の子)どんなことが好きなのかわからない
- (それ以外)ペアの子と仲良くなれたから違う友達とでも仲良くできると思うから

Further work

- 児童の記述の細かい分析

- ex 1回目から3回目のアンケートでどのような記述の違いがあるか
 - ペアの子や障害のある人へのイメージがどう変わったか

- ペアの学年によって、変化に違いはあるかの分析



References

- Yoshikawa, M. (2017). *Shougai o Shiri Kyousei Shaki o Tomo ni Ikiru*[Understanding Disabilities and Living Inclusive Society]. Tokyo.
- Otani, H. (2001). *Kouryu Kyouiku ni okeru Chiteki Syougaiji ni Taisuru Kenjouji no Taido Keisei -Taido to Jizen Shidou ni okeru Jouhou Teikyou, Kouryuu Keiken, Hyouka Taishyou to naru Chiteki Syougaiji no Tokutei tono Kanrensei no Kentou-* [Formation of Attitudes Toward Children with Mental Retardation by Other Children: Educational Integration]. *Special Education*, 39(1), 17–24.
- Aizawa, M. (2019). *Kouryuu oyobi Kyoudou Gakushuu* [Excghamge and Collaborative Learning]. In T. Kunihiko, K. Manabu, M. Keiji, H. Hiromasa, & S. Sadao (Eds.), *Shinban•Ki-wa-do Bukku Tokubetu Shien Kyouiku -Inkuru-shibu Kyouiku Jidai no Kiso Chishiki-*[Keyword book of Special Needs Education -Basic Knowledge for Inclusive Society] (pp. 46–47). Kyoto: CREATES KAMOGAWA.
- MEXT. (2017). *Shougai no Aru Jidou Seito to no Kouryuu Oyobi Kyoudou tou Jisshi Jyoukyou Chousa Kekka*[Survey and Result of Exchange and Collaborative Learning]. MEXT. Retrieved from http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/10/30/1397010-3.pdf
- MEXT. (2019). *Kouryuu oyobi Kyoudou Gakushuu Gaido*[Guide for Excghamge and Collaborative Learning]. Retrieved from http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/_icsFiles/afieldfile/2019/04/11/1413898_01.pdf